

## 新潟リハビリテーション研究会に参加しました

平成 26 年 10 月 4 日（土）に、新潟大学医学部学士会有王記念館で開催された、新潟リハビリテーション研究会に参加しました。

この研究会は、毎年 10 月頃に開催され、今年で 17 回目となります。

今回も大勢の方が訪れました。参加者の中で医師は 60 名程ですので、大方は医師以外の医療介護関係者のおかげだと思います。

一般演題も特別講演もとても興味深いものでした。

### 【プログラム】

#### ◆一般演題

- 1) 「ポリオ後遺症に脳出血を合併し、3 肢麻痺をきたした 1 例」
- 2) 「TKA 患者満足度に及ぼす「老いの受容」影響」
- 3) 「脳卒中による嚥下障害に対し PTEG (経皮食道胃管挿入術) を施行した 1 症例」
- 4) 「当院でのロボットスーツ活用状況」
- 5) 「自動車運転適正評価におけるドライブシミュレータの可能性」

#### ◆教育研修講演

- 1) 「高次脳機能の評価を生活機能向上に結び付ける」  
札幌医科大学医学部リハビリテーション医学講座 教授 石合純夫先生
- 2) 「リハビリテーション栄養とサルコペニア」  
横浜市立大学附属市民総合医療センターリハビリテーション科 助教 若林秀隆先生

特に、サルコペニアとリハビリテーション栄養に関する若林先生のお話は多くの医師の悪しき困習を取っ払う魅力的な内容でした。

それにしてもみなさん presbyphagia (老人性嚥下機能低下、略して老嚥) って知っていますか？ 申し訳ないのですが私は始めて聞きました。

加齢や疾患によるサルコペニアはまだしも医原性のサルコペニア、嚥下機能障害と云われると・・・耳が痛いです。

若林先生は、インターネットやマスコミおよび著作活動も積極的に行われているとのこと。 <http://rehabnutrition.blogspot.jp/>  
勉強になりました。